新潟観光コンベンション協会が発足

観光・大会誘致を一層充実

地域経済の活性化や観光の振興をより充実させようと、市観光協会と学会や会議などを誘致する㈱新潟コンベンションビューローが合併。四月から法人組織として「新潟観光コンベンション協会」が発足しました。これにより、観光全般の窓口が一本化し、個人観光客と学会や会議などのコンベンションの誘致活動が効率的に行われます。

市観光協会は、新潟商工会議所に事務局があり専任スタッフのいない任意の団体でした。法人化により人材確保、財政の安定が見込まれることから、業務が一部重複する新潟コンベンションビューローと合併。新組織には基本財産、運用財産がそれぞれ一億円ずつ増額されます。これにより民間活力が利用しやすくなり、行政の範囲を超えた事業展開が可能となります。

また、個人観光客と学会や会議などのコンベンションの誘致を同じ組織で行うことで、参加者のサービスの向上にもつながります。

新潟コンベンションビューローは平成三年十月に財団法人として設立。学会や会議、コンテスト、見本市などの誘致支援活動を行い、また観光協会と同様、外客誘致や地域産業の振興などを手掛けていました。

今後は、首都圏に対して新潟の観光情報やイベントなどをPRするためにラジオ宣伝を行います。

また首都圏、名古屋、福岡に加え沖縄、函館などの観光キャンペーンの強化、広域的観光のより一層の充実を図ります。

今後より一層観光客を誘致できるかが課題
(写真は新潟まつり・民謡流し)

松風

中核市への移行

新潟市は四月一日から「中核市」として出発いたしました。地方自治法に基づく「市」は現在全国に六百六十六市ありますが、そのうち大阪、名古屋などおおむね百万を超える十二の大都市がいわゆる政令指定都市と呼ばれ、都道府県と同様の権限を与えられております。

そしてこのたび新しく「中核市」として、堺、熊本、岡山、浜松、鹿児島、新潟、静岡、姫路、金沢、宇都宮、岐阜、富山（人口規模順）の十二都市が指定されて、いずれもこの四月一日から出発いたしました。

中核市制度とは行政の事務について、できるだけ住民生活に近い行政体に大きい権限を与えて、総合行政体として意志決定できるようにしていくべきだという地方分権の時代の流れを反映するものです。

実際にも、例えば人口で考えてみますと、政令指定都市を除く約一市のなかでも最大約八十万人の堺市から最小約七千人の北海道歌志内市まで差があります。同じように市とはいっても、都市の機能や財政力、行政能力的にも大きな差ができています。

このような状況を反映して、地方の中核的役割を果たしている人口三十万以上の一定の広がりを持つ都市については県の権限を市に移譲していくこととして、中核市制度が新しくできたものであります。新しく中核市として出発する十二都市はいずれもすでに地方中枢拠点都市としての役割を果たしている都市といえます。

中核市では保健所などの業務を担当することが要求されますが、同時に都市計画における開発行為の許可権限や福祉事務における各種の認可・交付の決定等の権限も与えられることになり、住民生活に深い関わりのある業務について市が決定権と責任を持つことになります。その結果、事務の簡素化、手続きの迅速化等が図られることになりますし、また、その都市にとっての固有のまちづくりという観点からの行政がやり易くなるという利点も生まれてまいります。

中核市としての出発が、市民生活の安定と向上にとって有益な効果を生み出すものとして活用できるよう、そして、制度的にも中枢拠点都市としての地位が与えられた新潟市がそれにふさわしい発展を遂げるよう、これからも大いに創意工夫を重ね努力していかねばならないと思います。

新潟市長　長谷川義明

市美術館

矢部友衛と仲間たち
新潟の風景画など176点

市美術館では「矢部友衛（水道町一）さんが、同館に寄贈したもの。小林さんは矢部さんと親交を持ち、と現実会の仲間たち展」と題して四月十二日から五月十二日まで企画展を開催します。

矢部さんは村上市出身の画家。「現実会」は戦後まもなく矢部さんをはじめ十人の仲間で結成されました。

本展では、戦中・戦後と作家たちが暮らしていた土地の風景、静物など油彩やデッサンを中心に百七十六点を紹介。これらの中には当時の新潟の様子を描いた作品もあります。

作品は、実業家小林力三

作品展を開くにあたって援助支援する一方、彼らの作品の収集家でもあります。

個人所蔵の作品であったことから、今日まであまり紹介される機会のなかったものです。ぜひこの機会にご覧ください。

期間中は、作品鑑賞会を四月二十一日を除く毎週日曜日午後二時から行います。（五月十二日は手話通訳あり）

また、このほかに次の講演会を行います。

「野良」矢部友衛

◎「大正期新興美術運動と矢部友衛」
日時　四月二十一日午後二時から
講師　本間正義さん（美術評論家）
定員　百人（応募多数の場合抽選）
申し込み　四月十二日（必着）までに往復はがきに講演名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、同館（西大畑町五一九一九）へ
開館時間　午前九時から午後四時半（四月十二日は午前十一時から、期間中の休館日は四月十五、二十二日、五月七日）
観覧料　六百円（大・高生五百円、小・中学生四百円）
問い合わせ　同館（☎223・1622）へ

市役所組織変更

都市景観室を新設

四月一日から市役所組織の主な変更は、次の通りです。都市計画課内に屋外広告物事務も含め都市景観行政を推進するため都市景観室を新設しました。このほか、精神薄弱者デイサービスセンター（明生園に併設）と資源再生センター（東清掃センター地内に設置）を新設しました。

市役所組織変更

入館者400万人突破
幸運は橋本典子さん（弥彦村）

市水族館「マリンピア日本海」の入館者が、三月十七日に四百万人を突破しました。

多くの家族連れが来館する中、幸運の四百万人目となったのは西蒲原郡弥彦村の橋本典子さん（一〇）。当日の午前十時に、母親の桂子さん（四一）と妹の明子さん（七）の三人で訪れたところ、典子さんが選ばれました。

同館から五万円の旅行券と、イルカのぬいぐるみを手渡された典子さんは「とてもうれしい。ぬいぐるみは部屋に飾ります。今日はイルカを見たい」と満面の笑みを浮かべていました。

桂子さんも「雨が降ったので、スキーに行く予定を変更してこちらに来ました」と突然の出来事に驚いていました。

また、このほか前後十人にマリンピア特製のテレホンカード、ガラス細工が贈られました。

同館の入館者数は、平成三年八月十五日に百万人を達成。平成五年の三月三十日に二百万人、平成六年の八月十四日には三百万人を突破しています。

突然の出来事に驚く橋本さん親子

第31回早起き野球大会
参加チーム受け付け中

受付期間　4月11日までの正午～午後7時（土・日曜日は午前9時～午後5時）
受付会場　陸上競技場内
申し込み　参加申込用紙を受け付けへ
問い合わせ　体育課（☎内線3274番）へ

東地区ファミリーハイキング

日時　4月29日午前7時40分新潟駅万代口集合（雨天決行）
行き先　花見山（五泉市）
対象　宮浦・東新・木戸中学校区に在住の100人（小学生以下は保護者同伴）
参加費　中学生以上3,500円、小学生2,500円、幼児500円
申し込み　4月15日（必着）までに往復はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、東地区公民館（蒲原町7-1☎241-4119）へ
※応募多数の場合抽選

アクアエクササイズ

日時　4月20日～7月6日①Aコース…午前9時半～10時20分②Bコース…午前10時40分～11時半（土曜日、各8回）
会場　鳥屋野総合体育館屋内プール
対象　女性各180人
参加費　1,600円（入館料1回350円別途）
申し込み　4月13日（必着）までに往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号、コースを記入し同館（神道寺310-1☎241-4600）へ
※応募多数の場合抽選

廃油石けん作り講習会

日時　4月15日午前10時～正午
会場　北地区公民館
定員　先着20人　**参加費**　100円
申し込み　会場（☎259-7330）へ

外国語入門講座

会場　中央公民館
対象　学習経験のない人各45人
申し込み　4月20日（必着）までに80円切手を張った返信用封筒を同封の上、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、コースを記入し、会場（西堀通6-873-1☎223-7070）へ

コース	開催日程	時間
ハングル	5月9日から毎週木曜日	午後6時半～8時半（各コース全24回）ただしタイ語は午後7時～9時
ロシア語	5月8日から毎週水曜日	
中国語	5月8日から毎週水曜日	
フランス語	5月7日から毎週火曜日	
タイ語	6月3日から毎週月曜日	
スペイン語	6月3日から毎週月曜日	

※応募多数の場合抽選、各コースともテキスト代が必要

木戸親子遊びのひろば

日時　4月18日～5月9日毎週木曜日午前10時～正午
参加費　200円
会場　木戸公民館　**定員**　先着親子30組
申し込み　東地区公民館（☎241-4119）へ

住宅建築相談

日時　4月9・23日午前9時～午後4時
会場　市役所第1分館501号室
相談内容　新・増改築プランのアドバイス、公的融資、耐震診断、見積り、ほか
問い合わせ　建築指導課（☎内線3060番）へ

今週の広報テレビ

4月7日
- **さわやか新潟**
「西新潟でゴミ6分別収集スタート」
BSN第1・3日曜7:15～7:30
- **にいがた子どもの広場**
「三味線と琴に触れて」
NT21　毎週日曜17:55～18:00
- **にいがた**「資源再生センター・エコープラザ」
ケーブルネット新潟　毎週日曜9:30～10:30、月曜9:00～9:30、ほか
※加入希望者は（☎247-4100）へ